

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 11 日

第 7 回アジア・スマートシティ会議特集版

【発行】横浜市国際局政策総務課

企画担当 045-671-4710

ki-somu@city.yokohama.jp



【第7回アジア・スマートシティ会議の様子】

第 7 回アジア・スマートシティ会議を開催しました

「アジア・スマートシティ会議」は、アジア新興国諸都市の代表者や、企業・国際機関等の有識者が一堂に会し、経済成長と良好な都市環境が両立する持続可能な都市づくりの実現に向けた議論を行う国際会議です。

本年度第 7 回会議は、11 月 13 日から 15 日にかけて開催し、14 カ国から約 30 の都市・政府機関、企業、学術機関の各代表など計約 500 名が参加し、過去最大規模の会議となりました。

第 7 回となる今回は、世界銀行東京開発ラーニングセンター及びアジア開発銀行研究所と初めて合同で開催し、共創による革新に向けた「マーケットプレイス」をテーマとして開催しました。



11/13 (1 日目) 市内視察を実施

1 日目に、会議参加者を対象に市内視察を行いました。新市庁舎建設予定地、北部汚泥資源センター、都筑工場及び緑資源選別センターの 3 つのコースに分かれて視察を実施し、海外都市、国際機関、市内企業関係者等から約 70 名が参加しました。

11/14 (2 日目) 分科会を実施

2 日目の分科会では、廃棄物処理や交通、省エネ、防災など、新興国の都市課題について、解決策を探るとともに、新たなテクノロジーが都市に与えるインパクトについて、理解を深めました。

各分科会では都市の代表者が特定の開発課題を発表し、国内外からのソリューション提供者（企業、学術機関など）が、技術や製品、能力開発支援など、課題に対処するためのソリューションを提案しました。



11/15 (3 日目) 「横浜宣言」発表

3 日目は、パネルディスカッション、基調講演、ラウンドテーブル・セッション等を通じて議論を深めました。



オープニング・セッションでは、林市長が開会挨拶を行いました。そして、クロージング・セッションにおいて、「第 7 回アジア・スマートシティ会議・横浜宣言」が発表されました。

併催イベント：日経 BP 主催の ビジネスフォーラム、横浜市立 大学主催のユースイベント 2018

併催イベントでは、「ビジネスフォーラム：企業と自治体が担う、SDGs で創る持続可能な都市」の開催により、民間セクターの参画が促進されました。

また、「ユースイベント 2018」では、横浜市立大学の学生が研究成果を発表しました。



ネットワーキングイベント： YUSAと連携して横浜インフォーマ ーケットを開催

横浜市と一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE

(YUSA) が連携して、横浜市が持つ街づくりに関するノウハウに加えて、横浜の企業が持つ技術を紹介しました。

また、都市課題へのソリューションを求める新興国都市と、ソリューションを提供する企業の出会いの場を提供しました。

